

令和 4（2022）年度日本教育大学協会全国美術部門協議会
第 61 回大学美術教育学会 宮崎大会

大会案内・研究発表概要集

会期：令和 4（2022）年 9 月 17 日（土）・18 日（日）
会場：宮崎大学地域デザイン棟（木花キャンパス）
主催：日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会
企画運営：宮崎大会実行委員会

宮崎大会テーマ

『次世代型美術教育モデルの構築に向けて』

■目 次

ごあいさつ

大会案内（参加方法、日程・内容）

令和 4（2022）年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会
宮崎大会 シンポジウム

<日本教育大学協会全国美術部門>

日本教育大学協会 全国美術部門 協議会 開会式／協議会／総会
令和 4（2022）年度 役員・各種委員会委員一覧（案）
令和 3（2021）年度 事業報告 令和 4（2022）年度事業計画（案）

<大学美術教育学会>

第 61 回大学美術教育学会全国大会 開会式／総会
令和 4（2022）年度 役員・各種委員会委員一覧（案）
令和 3（2021）年度 事業報告 令和 4（2022）年度事業計画（案）

<オンライン発表>

口頭発表一覧（動画等）
ポスター発表一覧
口頭発表・ポスター発表について

口頭発表要旨

ポスター発表要旨

学生会議

ごあいさつ

この度は、令和4年度日本教育大学協会全国美術部門協議会、並びに第61回大学美術教育学会宮崎大会にご参加いただきありがとうございます。

本来ならば、協議会及び学会において対面でご議論いただき、また懇親会等では会員のみなさまの相互交流を深めていただきたいところです。しかしながら、ワクチン接種も進み行動制限も原則廃止されたとはいえ、医療のひっ迫状況等に改善の兆しがみられない中で、本部との検討も重ねました結果、今年度の大会がこうした開催形態の最後になることを願いつつ、一昨年度の宇都宮大会と昨年度の山形大会に続きオンラインで実施することにいたしました。

開催校の所在地である宮崎市は、県の南東部に広がる宮崎平野の南端に位置して明るい海が間近であり、冬季も温暖で晴天が続くことから、プロ野球、プロサッカーチーム等のキャンプ地として知られています。

美術教育に目を向けますと、戦後の代表的な美術教育運動である創造美育協会の創立に関わった、現代美術の先駆者・瑛九の出身地であり、市内の宮崎県立美術館には常設の瑛九展示室が設けられています。本冊子には、彼の晩年の代表作『田園B』の画像を掲載しておりますが、会員のみなさまには、機会がありましたら当地にお越しいただき、その他の作品と併せて実物の迫力を味わっていただければ幸いです。

さて、本大会のテーマは「次世代型美術教育モデルの構築に向けて」です。現在、いわゆる VUCA 時代を生き抜いていく子どもたちの資質・能力を育成するために、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習や、その指導方法等の充実が求められています。これらは元来、感性の力である想像力を働かせ、知性と身体とを協働させながら創造や鑑賞行為を実践する美術教育において、当たり前になら学ばれていることでもあります。美術教育の側からみれば、ようやく時代が追いついてきたといっても過言ではないでしょう。

一方、学校教育現場では、高度化する情報社会に必須な能力を養成するために、プログラム教育の導入や ICT 教育の充実などが、待ったなしの課題になっています。もちろん美術教育も例外ではありません。しかし、人類発祥と同時に始まる広義の美術の流れを顧みれば、常に先端のテクノロジーとメディアを創作行為に活かして、新たな表現を拓いてきた事実に突き当たります。

本大会企画のシンポジウムでは「STEAM 教育とアート」をテーマといたしました。プログラム教育等に巻き込まれるのではなく、先端のテクノロジーも素材や表現手段の一つとして、創作活動を拡充しながら次世代の教科横断的な教育をけん引していく、いわば「ASTEM 教育」の可能性について考える端緒を開くことができれば、開催校として望外の喜びです。

変わらず大切に守り続けていくことと、新たに挑戦していくべきことの両面を視野に、美術教育の研究と教育実践のさらなる発展と充実を祈念いたしまして、本宮崎大会開催のごあいさつに代えさせていただきます。

宮崎大会運営委員長

石川 千佳子

(宮崎大学教育学部)

大会案内

令和4（2022）年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会 第61回 大学美術教育学会 宮崎大会

令和4（2022）年9月17日（土）・18日（日）

令和4（2022）年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会／第61回 大学美術教育学会 宮崎大会は、美術部門協議会や総会等は現地開催によるライブ配信、研究発表等はオンデマンド配信（一部ライブ配信）としたハイブリッド型の「オンラインによる大会」として開催します。

オンライン開催（宮崎大学教育学部）

令和4年 9月17日（土）・18日（日）

宮崎大会専用ページ <https://www.miyazaki2022.com/>

ライブ配信(Zoom)・・・宮崎大学地域デザイン棟（木花キャンパス）／

美術部門協議会・企画等、ライブ研究発表

※参加費は無料。研究発表の動画等の閲覧にはPW入力が必要です。

※終了後、アーカイブ（研究発表等）を9月25日まで配信。

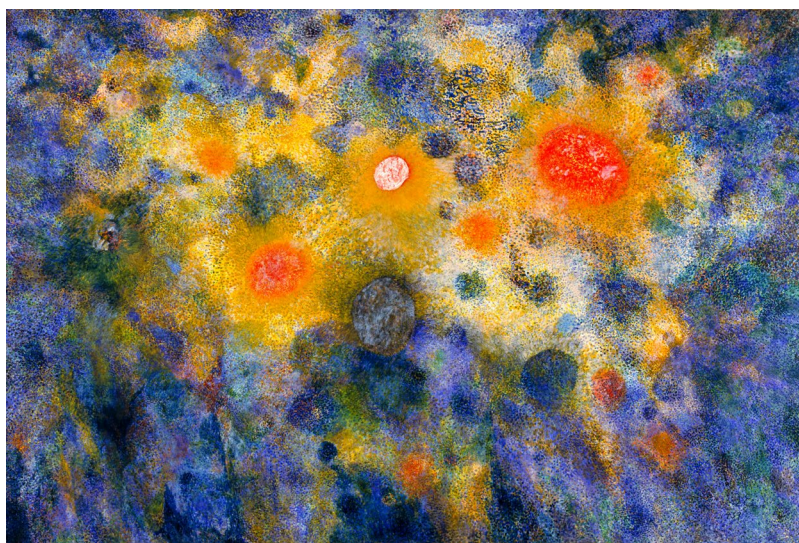
■大会全般に関する問い合わせ先

宮崎大会運営事務局 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学教育学部

宮崎大会運営委員（窓口） 幸 秀樹 E-mail: yuki-h@cc.miyazaki-u.ac.jp Tel: 0985-58-7535



晩年の点描の大作で
広く知られる瑛九には、
宮崎大学農学部農場を描
いた作品もあります。



写真左： 瑛九『農場風景』1942-43年、キャンバス・油彩、90.8×71.2cm、宮崎大学蔵

写真右： 瑛九『田園 B』1959年、キャンバス・油彩、130.7×194.0cm、宮崎県立美術館蔵

*写真上のソフトスカルプチャーは樺島優子(宮崎大学)による『瑛九くん』

◇参加方法

今年度の大会もオンラインによる実施のため、参加費は徴収しません。

研究発表を視聴される際には配布してあるパスワードの入力が必要です。

口頭発表、ポスター発表、企画等に関する、各ライブ配信とオンデマンド配信は、無断での録画・撮影・録音または資料等の再配布を禁止します。皆様のご協力をお願いします。

◇日程・内容

■大会前日の諸会議：9月16日（金）

時 間	内 容	出席者	方 法
13:00～	総務局会議（場所：宮崎大学教育学部）	総務局	Zoom 会議
15:00～	学会理事会、部門役員会 学会誌委員会、全国学校美術教育支援委員会、 全美協役員会	地区全国委員・理事 各種委員会委員等	Zoom 会議 委員会ごとオンライン 等で実施予定

■第1日目：9月17日（土）

時 間	内 容	出席者	方 法
9:30～	令和4年度 日本教育大学協会全国美術部門 開会式	総務局 宮崎大学 他	ライブ配信 (Youtube)
10:00～	日本教育大学協会全国美術部門 協議会 テーマ：「美術教育と今日的教育思潮 - 21 世 紀に求められる力量を美術教育者は如何に考 えるか - 」	総務局 宮崎大学 他 基調・説明 (新井副代表) パネラー (九州地区)	ライブ配信 (Youtube)
12:00～	令和4年度 日本教育大学協会全国美術部門 閉会式	総務局 宮崎大学 他	ライブ配信 (Youtube)
13:00～	第61回 大学美術教育学会全国大会（宮崎大会）開会 式	総務局 宮崎大学 他	ライブ配信 (Youtube)
13:30～ 14:30	令和4年度 日本教育大学協会全国美術部門 第61回 大学美術教育学会 総会	総務局 宮崎大学 他	ライブ配信 (Youtube)
15:00～ 16:30	シンポジウム テーマ：「STEAM 教育とアート」	総務局 宮崎大学 他	ライブ配信 (Youtube)
17:00～	研究発表（オンデマンド発表）	—	オンデマンド配信

■第2日目：9月18日（日）

時 間	内 容	出席者	方 法
9:00～ 12:00	研究発表（ライブ発表；希望者） 30分×6件	—	ライブ配信
10:00～	学生会議	総務局 宮崎大学 他	ライブ配信
12:00～	研究発表（オンデマンド発表）	—	オンデマンド配信
12:00～	第61回 大学美術教育学会全国大会（宮崎大会）閉会式	総務局 宮崎大学 他	現地／大会後にオ ンデマンド配信
13:00～ 16:00	研究発表（ライブ発表；希望者） 30分×6件	—	ライブ配信

◆ ライブ配信は Zoom（一部を Youtube でも同時に配信）にて行います。

◆ 研究発表は、第1日目（9月17日）のシンポジウム後に公開します。期間は約一週間です。

◆ 大会二日間、総務局が宮崎大学教育学部に参集し、大会運営スタッフ（宮崎大学）と共に全国美術部門協議会、総会、開会式・閉会式を行います。

◇令和4（2022）年度 日本教育大学協会 全国美術部門 協議会

急激に変化する時代、あるいは予測困難な時代と呼ばれる今日において、子どもたちの学びの在りようとそれを支える者の役割が問われ続けています。

子どもたちが、一方で他の者と同じであることに安堵し、他方で居心地の悪さや違和感の中で成長しているのならば、自己と他者の価値を見つめ直す学びと個々の子どもたちに寄り添った学びとの双方が求められます。また今日的教育思潮を視野に入れたときに、子どもたちを支える者の養成、教員養成においては、教科教育・教科専門の枠組みを超えて捉え直す必要があります。

今回は「美術教育と今日的教育思潮-21世紀に求められる力量を美術教育者は如何に考えるか-」というテーマで、九州地区の大学教員より発表をいただき、協議したいと思います。

テーマ：美術教育と今日的教育思潮

- 21世紀に求められる力量を美術教育者は如何に考えるか -

日 時：9月17日（土）10：00～12：00 ライブ配信（YouTube、Zoom）

場 所：宮崎大学地域デザイン棟（木花キャンパス）

発 表 者：

徳安 和博（佐賀大学芸術地域デザイン学部 教授）彫刻

藤井 康子（大分大学教育学部 准教授）美術科教育

大野 匠（宮崎大学教育学部 教授）彫刻・工芸

和田 七洋（鹿児島大学教育学部 准教授）デザイン

ティトゥス・スプリー（琉球大学教育学部 准教授）デザイン

コーディネーター：

新井 浩（福島大学人間発達文化学類 教授）彫刻・[部門副代表]

令和4（2022）年度 第61回大学美術教育学会 宮崎大会 シンポジウム

「STEAM 教育とアート」-アートとテクノロジーの関係性を問う-

ライブ配信日時：9月17日（土）15：00～16：30

Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）を統合的に学習する「STEM教育」に、Arts（リベラル・アーツ）を含めた「STEAM教育」は、NPO 法人オハイオ芸術教育同盟（Ohio Alliance for Arts Education）のプラッツ（J. Platz）が“STEM into STEAM”という表現でその意義を唱えました。また、RISD（Rhode Island School of Design）の学長であったマエダ（J. Maeda）は2008年から2015年まで“STEM to STEAM”の教育プログラムの推進に貢献してきました。

中央教育審議会答申（2021.1.26）では、「STEAMのAの範囲を芸術、文化のみならず、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲（Liberal Arts）で定義し、推進することが重要である」という考え方が示され、教科等横断的な学習の推進の重要性を唱えています。

このシンポジウムではSTEAM教育を話題の起点として、アート（Art）並びにそれと語源を同じくするテクノロジーとの関係性、ファインアート（fine arts）、美術教育の未来について考える端緒になればと思います。

登壇者は、STEAMJAPAN 代表理事の井上祐巳梨氏、高等学校理科教諭・校長、県教委教育長などを歴任してきた飛田洋氏、地域・社会や日常を見つめてきた現代美術家、地域デザイナーの藤浩志氏を予定しています。

登壇者

井上 祐巳梨（STEAMJAPAN 代表理事）

飛 田 洋（元 宮崎県教育委員会 教育長）

藤 浩 志（秋田市文化創造館・秋田公立美術大学教授）

（五十音順）

開催大学挨拶

石川 千佳子（宮崎大学 副学長）

司 会・コーディネーター

幸 秀 樹（宮崎大学 教授）

令和4（2022）年度 日本教育大学協会 全国美術部門 協議会

開会式／協議会／総会

日 時：令和4（2022）年9月17日（土）

会 場：宮崎大学地域デザイン棟（木花キャンパス）

〈開会式〉 9:30～9:45

司会進行：幸 秀樹（宮崎大学）

- | | | |
|-------------|---------|---------------|
| 1. 開会挨拶 | 代 表 | 新関 伸也（滋賀大学） |
| 2. 開催大学代表挨拶 | 大会運営委員長 | 石川 千佳子（宮崎大学） |
| 3. 閉会挨拶 | 副代表 | 相田 隆司（東京学芸大学） |

〈協議会〉 10:00～12:00

テーマ 美術教育と今日的教育思潮

－ 21世紀に求められる力量を美術教育者は如何に考えるか －

- | | | |
|------|------------|-----------------------|
| 発表者： | 徳 安 和 博 | （佐賀大学芸術地域デザイン学部 教授）彫刻 |
| | 藤 井 康 子 | （大分大学教育学部 准教授）美術科教育 |
| | 大 野 匠 | （宮崎大学教育学部 教授）彫刻・工芸 |
| | 和 田 七 洋 | （鹿児島大学教育学部 准教授）デザイン |
| | ティトウス・スプリー | （琉球大学教育学部 准教授）デザイン |

コーディネーター：

新井 浩（福島大学人間発達文化学類 教授）彫刻

〈総 会〉 13:30～14:00

司会進行：幸 秀樹（宮崎大学）

- | | | |
|----------|-----|-------------|
| 1. 挨拶 | 代表 | 新関 伸也（滋賀大学） |
| 2. 議長団選出 | 総務局 | |
| 3. 議 事 | | |

【報告事項】

- | | | |
|--------------------|--------|----------------------------|
| (1) 令和4年度 役員・各種委員等 | 代 表 | 新関 伸也（滋賀大学） |
| (2) 令和3年度 事業 | 総務局長 | 村田 透（滋賀大学） |
| (3) 令和3年度 決算 | 総務局員 | 芳賀 正之（静岡大学） |
| (4) 令和3年度 監査 | 監 事 | 新野 貴則（山梨大学）
河西 栄二（岐阜大学） |
| (5) 令和5年度 協議会の開催大学 | 大会運営委員 | 吉川 暢子（香川大学） |
| (6) その他 | | |

【協議事項】

- | | | |
|-------------------|------|-------------|
| (1) 令和4年度 事業計画（案） | 総務局長 | 村田 透（滋賀大学） |
| (2) 令和4年度 予算（案） | 総務局員 | 芳賀 正之（静岡大学） |
| (3) その他 | | |
| 4. 議長団解任 | | |
| 5. 閉会の辞 | 副代表 | 新井 浩（福島大学） |

令和4(2022)年度 日本教育大学協会全国美術部門 役員・各種委員会委員一覧

■代 表 新関 伸也* (滋賀大学)

■副代表 新井 浩* (福島大学)
相田 隆司* (東京学芸大学)

■顧 問 八重樫 良二* (北海道教育大学)

■総務局委員

総務局長 村田 透* (滋賀大学)
副総務局長 松尾 大介* (上越教育大学)
福井 一真* (愛媛大学)
総務局員 芳賀 正之 (静岡大学)
前芝 武史 (兵庫教育大学)
吉川 暢子 (香川大学)
藤井 康子 (大分大学)
手塚 千尋 (明治学院大学)
総務局事務 高林 未央

■大会運営委員

幸 秀樹 (宮崎大学)
吉川 暢子 (香川大学)

■監 事 新野 貴則 (山梨大学)
河西 栄二 (岐阜大学)

■地区全国委員

I 〔北海道〕

佐々木 けいし (北海道教育大学岩見沢校)
李 知恩 (北海道教育大学札幌校)

〔東北〕

虎尾 裕 (宮城教育大学)
渡邊 晃一 (福島大学)

II 〔関東〕

向野 康江 (茨城大学)
本田 悟郎 (宇都宮大学)

III〔北 陸〕

岡田 匡史 (信州大学)
柳沼 宏寿 (新潟大学)

〔東 海〕

杉林 英彦 (愛知教育大学)
野村 幸弘 (岐阜大学)

IV〔近 畿〕

永沼 理善 (和歌山大学)
谷村 さくら (大阪教育大学)

〔四 国〕

福井 一真 (愛媛大学)
山田 芳明 (鳴門教育大学)

V〔中 国〕

藤田 英樹 (島根大学)
吉田 貴富 (山口大学)

〔九 州〕

栗山 裕至 (佐賀大学)
中川 泰 (長崎大学)

■学校美術教育支援委員会

(兼 大学造形教育連絡協議会)

(兼 全国造形教育連盟大学部会)

委員長 西村 德行 (東京学芸大学)
副委員長 笠原 広一 (東京学芸大学)
委員 岡田 匡史 (信州大学)
大島 賢一 (信州大学)

■将来構想委員会

委員長 新関 伸也 (滋賀大学)
副委員長 佐藤 哲夫 (新潟大学)
委員 新井 浩 (福島大学)
相田 隆司 (東京学芸大学)
松島 さくら子 (宇都宮大学)
山田 芳明 (鳴門教育大学)
柳沼 宏寿 (新潟大学)
小林 俊介 (山形大学)
新野 貴則 (山梨大学)
村田 透 (滋賀大学)

*印:運営委員

日本教育大学協会全国美術部門 事業報告 事業計画

令和3(2021)年度 部門 事業報告

5月31日(月)	R3 論文集『日本教育大学協会研究年報』 査読候補者推薦
6月13日(日)	第1回運営委員会、第1回総務局会 (オンライン会議)
6月23日(水)	「山形大会オンライン開催案内」郵送
6月23日(水)	「部門会報 No.55」発行・郵送
7月1日(木)	「山形大会案内(オンライン開催)」ホーム ページ開設、メール配信
9月18日(土)	第2回運営委員会、総務局会 (オンライン会議)
9月17日(金)	令和2年度会計監査 (新野監事・原口監事)
9月24日(金)	大会前日諸会議:第3回総務局会、第1 回全国美術部門役員会
9月25日(土) ～9月26日 (日)	令和3年度日本教育大学協会全国美術 部門協議会(オンライン開催):部門開会 式、部門協議会、部門閉会式、部門総会、 大会開催大学引継ぎ(次期開催大学-宮 崎大学)
10月2日(土)	第73回全国造形教育研究大会 北海道 大会(全国造形教育連盟大学部会)
12月7日(火)	「山形大会概要集・記録集」郵送・HP 掲 載
12月31日(金) (令和4年) 1月	「日本教育大学協会全国美術部門令和3 年度名簿」発行 日本教育大学協会全国研究部門連絡協 議会(東京学芸大学本部)(開催見送り) ※2月3日に日本教育大学理事会開催] (Web 会議)
2月20日(日)	第3回運営委員会、第4回総務局会 (オンライン開催)
3月31日(木)	第2回部門役員会、臨時総務局会 (メール会議、オンライン開催)
3月31日(木)	日本教育大学協会への事業報告 (R3.4-R4.3 事業分) *上記のほか、運営委員会(メール会議) 等を随時開催

令和4(2022)年度 部門 事業計画

5月31日(火)	R4 論文集『日本教育大学協会研究年 報』査読候補者推薦
6月12日(日)	第1回運営委員会、第1回総務局会 (オンライン会議)
6月28日(火)	「部門会報 No.56」発行・郵送
6月28日(火)	「宮崎大会オンライン開催案内」郵送
7月1日(金)	「宮崎大会案内(オンライン開催)」ホーム ページ開設、メール配信
8月26日(金) ～27日(土)	第74回全国造形教育研究大会 長野大 会(全国造形教育連盟大学部会)
9月11日(日)	第2回運営委員会、総務局会 (オンライン会議)
9月中旬	令和3年度会計監査 (新野監事・河西監事)
9月16日(金)	大会前日諸会議:第3回総務局会、第1 回全国美術部門役員会
9月17日(土) ～9月18日(日)	令和4年度日本教育大学協会全国美術 部門協議会(オンライン開催):部門開会 式、部門協議会、部門閉会式、部門総 会、大会開催大学引継ぎ(次期開催大学 -香川大学)
11月下旬	「宮崎大会概要集・記録集」郵送・HP 掲 載
(令和5年) 1月	日本教育大学協会全国研究部門連絡協 議会(東京学芸大学本部)
2月	第2回運営委員会、第4回総務局会 (オンライン開催)
3月	第2回全国美術部門役員会 (メール会議、オンライン開催)
3月31日(金)	日本教育大学協会への事業報告 (R4.4-R5.3 事業分) *上記のほか、運営委員会(メール会議) 等を随時開催

令和4（2022）年度 第61回大学美術教育学会 全国大会

開会式／総会

日 時：令和4（2022）年9月17日（土）

会 場：宮崎大学地域デザイン棟（木花キャンパス）

〈開会式〉 13:00～13:30

司会進行：幸 秀樹（宮崎大学）

- | | | |
|-------------|---------|---------------|
| 1. 開会挨拶 | 理事長 | 新関 伸也（滋賀大学） |
| 2. 開催大学代表挨拶 | 大会運営委員長 | 石川 千佳子（宮崎大学） |
| 3. 閉会挨拶 | 副理事長 | 山田 芳明（鳴門教育大学） |

〈総 会〉 14:00～14:30

司会進行：幸 秀樹（宮崎大学）

- | | | |
|--------------|-----|-------------|
| 1. 挨拶 | 理事長 | 新関 伸也（滋賀大学） |
| 2. 議長団選出 総務局 | | |
| 3. 議 事 | | |

【報告事項】

- | | | |
|--------------------|--------|---------------|
| (1) 令和4年度 役員・各種委員等 | 理事長 | 新関 伸也（滋賀大学） |
| (2) 令和3年度 事業 | 総務局長 | 村田 透（滋賀大学） |
| (3) 令和3年度 決算 | 総務局員 | 芳賀 正之（静岡大学） |
| (4) 令和3年度 監査 | 監 事 | 新野 貴則（山梨大学） |
| | | 河西 栄二（岐阜大学） |
| (5) 学会誌委員会 | 委員長 | 山田 芳明（鳴門教育大学） |
| (6) 令和5年度 協議会の開催大学 | 大会運営委員 | 吉川 暢子（香川大学） |
| (7) その他 | | |

【協議事項】

- | | | |
|-------------------|------|-------------|
| (1) 令和4年度 事業計画（案） | 総務局長 | 村田 透（滋賀大学） |
| (2) 令和4年度 予算（案） | 総務局員 | 芳賀 正之（静岡大学） |
| (3) その他 | | |

- | | | |
|----------|------|----------------|
| 4. 議長団解任 | | |
| 5. 閉会の辞 | 副理事長 | 松島 さくら子（宇都宮大学） |

令和4（2022）年度 大学美術教育学会 役員・各種委員会委員一覧

■理事長 新関 伸也*（滋賀大学）
 ■副理事長 松島 さくら子*（宇都宮大学）
 山田 芳明*（鳴門教育大学）
 ■顧問 八重樫 良二*（北海道教育大学）

■総務局委員

総務局長 村田 透*（滋賀大学）
 副総務局長 松尾 大介*（上越教育大学）
 福井 一真*（愛媛大学）
 総務局員 芳賀 正之（静岡大学）
 前芝 武史（兵庫教育大学）
 吉川 暢子（香川大学）
 藤井 康子（大分大学）
 手塚 千尋（明治学院大学）
 総務局事務 高林 未央

■大会運営委員

幸 秀樹（宮崎大学）
 吉川 暢子（香川大学）

■監 事

新野 貴則（山梨大学）
 河西 栄二（岐阜大学）

■地区全国委員

I〔北海道〕

佐々木 けいし（北海道教育大学岩見沢校）
 李 知恩（北海道教育大学札幌校）

〔東北〕

虎尾 裕（宮城教育大学）
 渡邊 晃一（福島大学）

II〔関東〕

向野 康江（茨城大学）
 本田 悟郎（宇都宮大学）

III〔北 陸〕

岡田 匡史（信州大学）
 柳沼 宏寿（新潟大学）

〔東 海〕

杉林 英彦（愛知教育大学）
 野村 幸弘（岐阜大学）

IV〔近 畿〕

永沼 理善（和歌山大学）
 谷村 さくら（大阪教育大学）

*印：運営委員

〔四 国〕

福井 一真（愛媛大学）
 山田 芳明（鳴門教育大学）

V〔中 国〕

藤田 英樹（島根大学）
 吉田 貴富（山口大学）

〔九 州〕

栗山 裕至（佐賀大学）
 中川 泰（長崎大学）

■私立大学全国理事

鳥越 亜矢（中国短期大学）
 浅野 卓司（桜花学園大学）

■学会誌委員会

委員長 山田 芳明（鳴門教育大学）
 副委員長 小池 研二（横浜国立大学）
 副委員長 西村 德行（東京学芸大学）
 委員〔R3-4 年度委員 7 名〕

小林 俊介（山形大学）
 佐原 理（徳島大学）
 高橋 智子（静岡大学）
 武田 信吾（関西学院大学）
 手塚 千尋（明治学院大学）
 蜂谷 昌之（広島大学）
 藤田 英樹（島根大学）

委員〔R4-5 年度委員 6 名〕

内田 裕子（埼玉大学）
 喜多村 徹雄（群馬大学）
 勅使河原 君江（神戸大学）
 新関 伸也（滋賀大学）
 藤井 康子（大分大学）
 古瀬 政弘（東京学芸大学）

■将来構想委員会

委員長 新関 伸也（滋賀大学）
 副委員長 佐藤 哲夫（新潟大学）
 委員 新井 浩（福島大学）
 相田 隆司（東京学芸大学）
 松島 さくら子（宇都宮大学）
 山田 芳明（鳴門教育大学）
 柳沼 宏寿（新潟大学）
 小林 俊介（山形大学）
 新野 貴則（山梨大学）
 村田 透（滋賀大学）

大学美術教育学会 事業報告 事業計画

令和 3 (2021) 年度 学会 事業報告

令和 4 (2022) 年度 学会 事業計画

6 月 13 日(日)	第 1 回運営委員会、第 1 回総務局会 (オンライン会議)
6 月 21 日(月)	学会誌「論文投稿案内」郵送
6 月 23 日(水)	「山形大会オンライン開催案内」郵送
6 月 23 日(水)	「学会会報 No.39」発行・郵送・HP 掲載
7 月 1 日(木)	「山形大会案内(オンライン開催)」ホーム ページ開設、メール配信
8 月 5 日(木)	学会誌・事前投稿登録締切
8 月 31 日(火)	大学美術教育学会「山形大会」研究発表 申込締切・発表概要原稿提出締切
9 月 9 日(木)	「投稿論文」締切(消印有効)
9 月 18 日(土)	第 2 回運営委員会、総務局会 (オンライン会議)
9 月 17 日(金)	令和 2 年度会計監査 (新野監事・原口監事)
9 月 24 日(金)	大会前日諸会議:第 3 回総務局会、第 1 回大学美術教育学会理事会
9 月 25 日(土) ～ 9 月 26 日 (日)	第 60 回大学美術教育学会「山形大会」 (オンライン開催):学会開催式(山形大 学)、研究発表、講演会、学会総会、学会 閉会式、大会開催大学引継ぎ(次期開催 大学-宮崎大学)
11 月 30 日(火)	投稿論文の掲載可否の決定(投稿論文の 最終提出は可否決定後 4 週間以内)
12 月 7 日(火)	「山形大会概要集・記録集」郵送
(令和 4 年)	
1 月 31 日(月)	投稿論文掲載者による掲載負担金納入 (厳守)
2 月 20 日(日)	第 3 回運営委員会、第 4 回総務局会 (オンライン開催)
2 月 20 日(日)	造形芸術教育協議会(オンライン開催)
3 月 31 日(木)	第 2 回学会理事会、臨時総務局会 (オンライン開催、メール会議)
3 月 31 日(木)	「学会誌・第 54 号」発行・郵送 *上記のほか、運営委員会(メール会議) 等を随時開催

6 月 12 日(日)	第 1 回運営委員会、第 1 回総務局会 (オンライン会議)
6 月 20 日(月)	学会誌「論文投稿案内」郵送
6 月 28 日(火)	「学会会報 No.40」発行・郵送・HP 掲載
6 月 28 日(火)	「宮崎大会オンライン開催案内」郵送
7 月 1 日(金)	「宮崎大会案内(オンライン開催)」ホーム ページ開設、メール配信
8 月 1 日(月)	学会誌・事前投稿登録締切
8 月 31 日(水)	大学美術教育学会「宮崎大会」研究発表 申込締切・発表概要原稿提出締切
9 月 5 日(月)	「投稿論文」締切(消印有効)
9 月 11 日(日)	第 2 回運営委員会、総務局会 (オンライン会議)
9 月中旬	令和 3 年度会計監査 (新野監事・河西監事)
9 月 16 日(金)	大会前日諸会議:第 3 回総務局会、第 1 回大学美術教育学会理事会
9 月 17 日(土) ～ 9 月 18 日(日)	第 61 回大学美術教育学会「宮崎大会」 (オンライン開催):学会開催式(宮崎大 学)、研究発表、講演会、学会総会、学会 閉会式、大会開催大学引継ぎ(次期開催 大学-香川大学)
10 月 16 日(日)	造形芸術教育協議会 (1 回目、オンライン)
11 月 30 日(水) まで	投稿論文の掲載可否の決定(投稿論文の 最終提出は可否決定後 4 週間以内)
11 月下旬	「宮崎大会概要集・記録集」郵送
(令和 5 年)	
1 月 31 日(火)	投稿論文掲載者による掲載負担金納入 (厳守)
2 月	第 3 回運営委員会、第 4 回総務局会 (オンライン開催)
3 月	第 2 回学会理事会 (メール会議、オンライン開催)
3 月 19 日(日)	造形芸術教育協議会 (2 回目、オンライン)
3 月 31 日(金)	「学会誌・第 55 号」発行・郵送 *上記のほか、運営委員会(メール会議) 等を随時開催

オンライン研究発表

《配信方法等：オンデマンド（記録音声、資料提示）配信による発表形式となります。》

口頭発表一覧（動画等）

No	発表題目	発表者
1	アート思考を高め、互いのよさや個性を認め尊重し合う子どもの育成 —対話による美術朝鑑賞（朝鑑賞）の活動を通して—	青木善治（滋賀大学）
2	戦後ポーランド発祥のオープンフォーム理論と美術教育への展開についての考察	家崎 萌（金沢学院大学）
3	学際的な研究領域としての美術教育と障害学／批判的障害学（1） —1990年代の動向と Blandy 論文—	池田吏志（広島大学）
4	美術教育における地域連携の可能性 —地域の特色に着目した陶芸体験の実践研究—	市原奨太郎（土岐市立泉中学校）
5	図画工作科の授業における教師のパフォーマンスに着目した評価方法の構築に関する研究	大西洋史（関西国際大学）
6	会話場面を連想・類推・感情移入源とする聖母子像の自由解釈 ボッティチェリ「聖母子(書物の聖母[1482-83年頃])」を学習材として	岡田匡史（信州大学教育学部）
7	造形活動における支援者の間接的な指導と幼児の行為	香月欣浩（四條畷学園短期大学）
8	ICT 端末を活用した「ASTEM 教育」の実践研究 —メディア・アート作品の共同制作体験を通して—	樺島優子（宮崎大学）
9	図画工作科・美術科における地域教材の変遷 —岐阜県教育研究資料目録の分析から—	小室明久（中部学院大学短期大学部）
10	彫刻家佐藤忠良の教育 —彫刻家育成における専門教育の理想・言説「徒弟」, 「職人」からの一考察—	齋藤亜紀（常磐大学、茗溪学園中学校高等学校）
11	自画像と風景による<私的世界>の拡大 —題材名「私の心の中の風景」の実践から—	西丸純子（福島県立須賀川創英館高等学校）
12	高等学校入学時における生徒の用具を扱う姿勢に関する実態調査 —高等学校芸術科工芸における指導内容の観点から—	高野雄生（東京都立拝島高等学校）

No	発表題目	発表者
13	創造型プログラミング学習の教育内容 —保育・教育専攻学生の回転を主題とした感性的表象群と質問紙調査の分析から—	高橋文子（東京未来大学） 木内菜保子（東京未来大学）
14	彫刻制作における素材の役割と生成するイメージ —「実材」という言葉で共有されてきたものを読み解いて	竹本悠大郎（長岡造形大学大学院 造形研究科博士（後期）課程）
15	学芸員による地域資源を活用した美術館教育の実践とその課題	田中梨枝子（京都芸術大学）
16	造形材料としての土粘土の状態変化を生かした実践研究 —小学校低学年と中学年の活動比較を通して—	谷村さくら（大阪教育大学）
17	童詩雑誌『きりん』が目指した感性教育 —1951（昭和 26）年 7 月号掲載記事より—	勅使河原君江（神戸大学）
18	幼児の感性とプログラミング活動をつなぐエモーショナルデザイン・アプローチを活用した造形活動のカリキュラムデザインに関する一考察	橋本忠和（北海道教育大学）
19	教員養成における人体塑造の意義 —岩野勇三著『彫塑—制作と技法の実際』に着目したワークショップとシンポジウムを通して—	松尾大介（上越教育大学） 岩永啓司（北海道教育大学） 羽田顕佑（聖ヶ丘学園） 家崎 萌（金沢学院大学）
20	小学校におけるコマ撮りアニメーションを用いた自画像表現の実践	松尾美咲（岐阜大学大学院教育学 研究科） 山本政幸（岐阜大学）
21	高等学校における絵画表現に関する実践研究報告 —描画材の段階的併用技法の導入について—	溝口昭彦（岩手大学）
22	美術科教科書 1956～2021 年度本 1 学年「見て表す」題材頁における掲載作品の検討	山口喜雄（元 宇都宮大学）
23	問題解決にもとづいた図画工作科の授業実践 —生活や社会の問題から発想する題材の開発—	山田唯仁（岐阜市立長良小学校・ 兵庫教育大学大学院連 合学校教育学研究科） 山本政幸（岐阜大学）

No	発表題目	発表者
24	環境に配慮したグリザイユ画の実践	横江昌人（小松市立高等学校 金沢美術工芸大学）

発表一覧（ポスター発表）

No	発表題目	発表者
1	共感性を育む図画工作科の鑑賞学習の開発 —小学校第6学年における大岩オスカル《フラワー・ガーデン》の鑑賞授業の実践を踏まえて—	亀石菜央（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程前期）
2	ナラティブを軸とした表現による「世界の拡張」についての研究 —思考プロセスを可視化する実例を通して—	佐藤 隼（奈良市立一条高等学校）
3	図画工作科の粘土表現に関する一考察 —陶土とガラスによる表現について—	隼瀬大輔（岐阜大学）
4	表現と鑑賞の一体化に関する実践 —新しい価値の創造を目指す題材開発を通して—	藤田知里（就実大学）
5	伝統工芸から学ぶ組みひもの実践研究	松井 祐（大阪教育大学）
6	明治期の幼稚園「手技」教授方法の検討—粘土細工—	水野道子（小田原短期大学）
7	創発的ワークショップを介した子どもとの空間づくりの実践	宮元三恵（東京工科大学）
8	中国小学校における「個性」と「自己表現」に関する課題と美術教育の可能性 —デューイの芸術教育論を中心として—	李 成懋（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程後期）
9	ろう芸術における Visual Vernacular に関する研究動向と展望	劉 錡洋（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程後期）
10	The Identity Tiny House Project による日米大学生間のバーチャル・エクスチェンジ	リョウ クリスティン （ノースカロライナ大学ウィルミントン校） 家崎 萌（金沢学院大学）
11	Maker space の教育概念を取り入れたものづくりの可能性	和田 幹（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程前期）

◇研究発表について（宮崎大会〈オンライン開催〉のご案内より）

基本的に発表形式はオンデマンド配信ですが、口頭発表の一部をオンライン（当日リアルタイムでの発表）形式で受け付けます。詳細は「◆ライブでの発表を希望される方」をご覧ください。

また、オンデマンド配信は、大会 Web サイトでアーカイブとして **9 月 25 日まで 7 日間公開**します。

口頭発表の形式（オンデマンド配信）

配信形式

- ・研究発表の動画（20 分まで）
- ・発表スライドの PDF 版（読み上げて 20 分程度）

オンデマンド配信（あらかじめ録画されたものを配信）による発表形式になります。大会専用のサイトに掲載、公開します。

追加資料について

動画・PDF・画像等で受け付けます。

ポスター発表の形式

配信形式

- ・JPG や PNG などの画像データ 2 つ（計 10MB まで）

オンデマンド配信形式になります。大会専用のサイトに掲載、公開します。

配信データ作成について

PDF でデータを作成した場合は、JPG や PNG に変換してから提出してください。変換できない場合はこちらで引き受けますので、連絡をください。

ライブでの発表を希望される方

配信形式

オンデマンド配信 + Zoom による配信

申し込み方法

口頭発表者のうち大会当日のオンライン発表を希望する方は、発表申込時に「**ライブ発表を希望する**」にチェックを入れてください。

発表件数・締切

上限は **12 件**となります。申込順で受け付け、上限が埋まり次第締め切ります。

発表当日

大会第二日目 9 時～12 時及び 13 時～16 時の時間帯に「ライブ発表枠」を設けます。指定された枠で、オンデマンド配信用に準備したスライドを用いての発表になります。

発表 20 分、質疑応答 8 分です。

配信データについて

オンデマンド配信用にスライドの PDF を提出してください。追加資料の掲載も可能です。

コメントについて

発表 1 件につき、専用のページを 1 ページ設け、コメントの記入欄（掲示板）を設置します。参加者からの質問や意見などが記入されますので、発表者はコメント欄での質問の場合は同じくコメント欄（掲示板）での回答をお願いします。

動画及びスライド・ポスターの提出

9 月 1 日以降、9 月 7 日（水）（正午まで）の間に、サイト担当者（高林）のメール宛（jimukyoku@miyazaki2022.com）に提出ください。データは PDF や画像はそのまま添付ファイルで、動画は無料大容量ファイル転送サービスをご利用の上、URL とパスワードを送ってください。

メールには、「**発表者氏名・所属**」「**発表題目（演題）**」「**発表形式（口頭発表・ポスター発表のどちらか）**」「**連絡先メールアドレス（送信したメールアドレスと連絡して欲しいメールアドレスが違う場合）**」を記入してください。資料等も一緒に添付しても構いません。

提出後

発表のページが整い次第、メールにて連絡します。問題がないかどうかの確認を必ずお願いします。

発表作成時の注意点

発表のスライド（動画・PDF・画像）や資料を作成の際には、「データ流出の可能性のないもの」、「著作権に問題のないもの」、「肖像権に問題のないもの」、「プライバシーに配慮したもの」を使用してください。

研究発表の留意点

- *発表は、共同発表者含め発表者全員の**学会会員の資格が必要**（新規入会で発表可能）です。
- *会員の方の会費納入期限は6月30日（木）です。年会費が未納の方（特に新規会員）について、**8月31日（水）までに事務局が学会費完納の確認できない場合、発表はできません。**
- *ライブでの発表の諾否は、**発表申込の集約後、申込者に別途連絡**します。

2022 年度 第 61 回大学美術教育学会 学生会議企画

担当 手塚千尋（明治学院大学）

ごあいさつ

第 61 回大会は、昨年度に引き続きオンライン（Zoom）で学生会議を開催します。昨年度は、教員養成課程や美術大学、教育系学部・学科で美術教育を学ぶ学生の皆さんを募集対象としていましたが、今年度は、幼・小・中・高の教員、大学教員、アーティストの皆さまと「美術教育」に関わる全ての人に対象を拡大したディスカッションの機会として企画することになりました。

近年、コンテンツ・ベースからコンピテンシー・ベースの教育／学習観への転換を背景に、教科教育の領域知の獲得とそれを活用するための資質・能力の育成を両立した新たな学びを支える ICT の活用が模索されています。さらに、社会における DX (Digital Transformation) 化を受け「教育 DX」では、「誰もが、いつでもどこでも、誰とでも、自分らしく学べる社会」をミッションに、フォーマル・インフォーマル教育の文脈で整備されようとしています。

COVID-19 で多くの方が経験した「アート／アートの学びのオンライン化」は、来る DX 社会における沢山の気づきとアイデア、問題の露呈をもたらしたとも言えます。社会と教育が DX 化に向かう中で、美術教育の学びとはどのように変わっていくのでしょうか。また、新しいメディアやシステムを前に、モノやコトを媒介とした美的経験はどのように更新され、再定義されていくのでしょうか。

本会議では、大会テーマ「次世代型美術教育モデルの構築に向けて」を受け、「DX 時代の美術教育」をテーマにディスカッションしていきます。参加者のみなさまには、小グループ（Zoom ブレイクアウトセッション）にて日々の教育実践やアート活動、授業での経験等を話題提供いただき、ディスカッションを展開していきます。それぞれの日々の経験や気づきを共有することから、多角的に DX 時代における美術教育について考える機会としたいと思います。ぜひお誘い合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

スケジュール

8 月 1 日～8 月 30 日 学生会議参加者募集（Microsoft Forms、氏名・所属・学年・アンケート）

申し込みフォーム：<https://forms.office.com/r/xGu3eXgri4>



9 月 10 日 参加者へテーマ、ZoomURL 周知

9 月 18 日 10:00～ 学生会議（90 分を予定）

令和4(2022)年度 日本教育大学協会 全国美術部門 協議会
第61回大学美術教育学会 宮崎大会[大会案内 研究発表概要集 宮崎大会記録集]

■日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会 宮崎大会 運営事務局

- ・大会運営委員長：石川 千佳子（宮崎大学）
- ・大会運営事務局：幸 秀樹（大会運営委員：宮崎大学），樺島 優子（宮崎大学）
- ・大会運営協力：株式会社ミチプロ（配信担当）
〒880-0036 宮崎市花ヶ島町屋形町 1209-2
TEL 0985 (27) 9685 FAX 0985 (27) 9942
- ・編集協力：部門・学会総務局
- ・概要集表紙：小谷 充（島根大学）

発行日：令和4(2022)年9月17日

発行者：日本教育大学協会全国美術部門代表・大学美術教育学会理事長 新関 伸也（滋賀大学）

印刷・発行：中西印刷株式会社

〒602-8048 京都府京都市上京区 京都市 上京区下立売通小川東入西大路町 146 番地

TEL：075-415-3661 / FAX：075-415-3662